

なごやかコンサート

なごやかコンサート  
1998年1月31日  
4時30分開演  
名古屋市芸術創造センター

# PROGRAM

1

プロローグ  
男声合唱：なごやか合唱隊

1 : VOCALIZE

作曲・アレンジ・指揮 なりたまさと  
向川原 慎一

2 : 間奏曲

作詞 武川 寛海  
作曲 石井 敏

# 2

## 「マザーグースの歌」より

女声合唱：コール汐路

- 1：ゆくゆくあるいて（語り+ピアノ演奏による）
- 2：にわのことりが
- 3：ボビー・シャフトー (+ヴォーカリーゼと踊り)
- 4：コールのおうさま
- 5：ミルクよバターに（アンサンブルによる）
- 6：間奏曲（オーボエとチェロによる）
- 7：ソロモングランディ

作詞 谷川俊太郎

作曲 青島 広志

指揮 美口 啓子

ピアノ 西野亞理紗

ヴォーカリーゼ 村瀬 千恵

# 3

## 男声合唱とモノlogueによる

### パパの子守歌

～とあるサラリーマンの日記より～

- 1：出発（旅立ち）
- 2：電話
- 3：パパの子守歌
- 4：覚えているかい？
- 5：何なんだ？
- 6：VOCARIZE（パパのための子守歌）
- 7：愛に包まれて

作 なりたまさと

指揮 成田 正人

ピアノ 三ツ口朱野

語り 小澤 直樹

弘瀬 紗綾

# 4

## 男とをんな、やんぬるかな男

名作オペラ&ミュージカル おいしいとこだけ

- 1：囚人の合唱（ベートーベン「フィデリオ」より）

- 2：ビーナスを讃える歌

- 3：巡礼の合唱（ワーグナー「タンホイザー」より）

- 4：おまえの投げたこの花（ビゼー「カルメン」より）

指揮 向川原慎一

- 5：女・女・女（レハール「メリーウайдゥ」より）

- 6：Deep in my heart

- 7：セレナーデ（ロンバーグ「学生王子」より）

- 8：Where my Bess

（ガーシュイン「ポーギーとベス」より）

指揮 浅井 良之

- 9：マリア（「ウェスト・サイド・ストーリー」より）

- 10：Think of me

- 11：All I ask of you

（「オペラ座の怪人」より）

指揮 稲熊 裕之

アンサンブル編曲

伊藤奈菜子

稻熊 裕之

ピアノ 西野亞理紗

独唱 笠井 幹夫

橋爪 圭子

合唱・アンサンブル コール汐路

SARAハーモニー

なごやか合唱隊

NAGOYAKA ENSEMBLE

声・女 紀ノ国悦子

男 鈴木 林藏

# DETAILS

STAGE  
1

## プロローグのプロフィール

MUKAIGAWARA

今日この会場において下さった皆さんはもちろんのこと、出演者、スタッフ一同、そしてその他これに関するすべての人たちに、このコンサートをなごやかに楽しんで頂こうというのが私たちの願いです。

そんなねらいを持ちながら、コンサートの始まりに無伴奏男声合唱の響きを、何曲かメドレー的にお聞き頂こうと思います。途中で読み上げるメッセージは、メンバーみんなが考えたものから選出、抜粋したものです。

(「和やか」を読み間違えると、名古屋弁で  
「ワヤか？」。肝心の演奏がそんなことに  
なりませんように……。)

STAGE  
2

## はやくバターになれ!

マザーが見せるアナザーの顔

YOMIBITOSIRAZU

マザー・グース (Mother Goose) は、英語圏の小さい子どもたちが読んだり遊んだり、歌ったりする伝承童謡の総称です。

日本でよく知られている「ロンドン橋」や「キラキラ星」、「メリーさんの羊」も、実はマザー・グースです。これらの伝承童謡は何百年にもわたって口伝えで伝わってきたため、総数七百とも千ともいわれる詩は作者や年代がはっきりわからなかつたり、ところどころ言葉やメロディーが違っていることも少なくありません。

しかし、昔から伝わるわらべうたがメロディーも言葉もなんとなく古く感じるのに対し、マザー・グースは現代童謡との区別がつかないほど、まったく古臭さが感じられず、大人と子どもの共通文化財産として現代にしっかりと生き続けているのです。

今日演奏しますマザー・グースの歌は、谷川俊太郎訳詞に青島広志作曲の全曲10曲中より7曲です。

いろいろなスタイルによるマザー・グースの歌の世界が、少しでも皆様の心の中に伝われば幸いです。

# 3 STAGE

## お父さんはエライ!か?

なりた まさと

近頃のお父さんはホント疲れているようです。街で見掛けるお父さんも、電車の吊り革につかまっているお父さんも、皆疲れた顔をしています。いっそのこと「オレはエライぞ！エライんだぞ！！」とでも怒鳴る事ができれば多少は違うと思うのですが・・（因みにここでいう「エライ」は倦怠感を表すNAGOYA弁で、正しくは「エリヤあ」）それで、という訳ではないのですが、たまには「フツーのお父さん」を主人公にした合唱曲を作り、世の男性陣に（自分も含め）エールを贈りたいと思い立った次第です。

とは言え、今日このステージに立っているお父さんたち、普段とはちょっと違って見えるはず。ミューズの女神のオーラを受けて光輝いているでしょう？そうです、ホントはお父さんはエライ（これは標準語での「偉い」）なんです！？この物語の主人公のように・・

実は、この『パパの子守歌』の構想自体は、男声合唱組曲の素材としてかなり前から温めていたもので、語りと合唱でストーリーを展開して行く「物語形式」の作品としては4作目になります。新しい手法や奇抜な技法は敢えて使わず、かつて骨の髓まで男声合唱に浸り切った者のノスタルジアを呼び起こすような曲に仕立て上げたつもりです。どんな物語かは本番のお楽しみにするとして、ここでは終曲の歌詞の一部を抜粋しておきます。

願わくは、このちっぽけな『人間贊歌』を聞いて下さる皆様方に、少しでもたくさんの『生きるエネルギー』をお届けすることが出来ますように・・・

人の生命は 産まれ出た日から  
たくさんの たくさんの愛に包まれて  
強く豊かに 輝きを増す  
人の生命は 燃え尽きる日まで  
たくさんの たくさんの愛を注いで  
新しい生命の 夢を育てる

オレがここで逃げ出すことは  
愛の流れを閉ざすことだ  
オレがここで逃げ出すことは  
永久の絆を断ち切ることだ  
オレは嫌だ逃げるなんて  
これまでオレが受け継いできた  
最後の生命のひとしづくまで  
生きた証しをつないで行きたい

パパも頑張るから おまえたちも頑張れ。  
苦しくても 泣きたくても 前に向いて行こう

人の生命は 時間を超えて  
たくさんの愛に支えられて  
たくさんの愛に包まれて行く  
それを信じて 歩んで行こう・・・

## 「男からみた」ヒロイン像

INAGUMA

とりあえずベートーベンの「フィデリオ」から始めました。ヒロインはレオノーレ、男装してフィデリオと名のり、夫フロレスタンが投獄されている刑務所に看守として潜り込みます。愛する夫のために危険を顧みず救出に行く妻。この愛のドラマをベートーベンがいかに気に入っていたかは、このオペラのために序曲を4曲も書いていることで窺い知ることができます。ところで「フィデリオ」が初演（1805年）された当時は、フランス革命（1789年）に象徴されるように、貴族社会から市民社会へと向かう激動の時代でした。強い女性像が時代のトレンドであったのかも知れません。<sup>\*1</sup>

それから40年ほどしてワーグナーの「タンホイザー」が初演（1845年）されます。ご存じのようにワーグナーは台本も自分で書く人でしたから当然、ヒロインには彼自身の女性観が投影されます。だからというわけでもないでしょうが、彼のオペラに登場するヒロインは男のために我が身を犠牲にする女性が多くこの「タンホイザー」のエリザベートもその典型といえるでしょう。でも、ちょっと待ってよ、と私は言いたい。だれがこの世の女ではないヴェヌスとさんざん気持ちいいことをしてきた男のために、「私の命と引き換えに彼の罪を許したまえ」と祈ってくれるでしょうか。少々男の身勝手が過ぎるんとちゃいまっかワーグナーはん？<sup>\*2</sup>

時は過ぎてフランス。「カルメン」の初演（1875年）はさぞ衝撃的だったことでしょう。何しろそれまでヒロインとして描かれたことのない女性像がヒロインとして登場してきたんですから。悪女がヒロインになるとき、男はもうどうしようもない。「男の沽券にかかるわる」なんて肩からしてみても、「俺を捨てないでくれ～」と泣き言を言うしかないのです。今日

歌う「花の歌」、私にはたいへん未練がましい歌に聞こえるですが・・・

時代は20世紀へと移り、「メリーウайдゥ」ハンナの登場（1905年）です。悪女とまではいかないまでも、かなりしたたかに生きる女性として、世の男どもは実はこういう女性に憧れを抱いているのではないかと思います。もちろん私も例外ではありません。<sup>\*3</sup>

20世紀はまた、ミュージカルを生み出した時代でもあります。「学生王子」（初演は1924年）の作曲者ロンバーグは、ハンガリーに生れウィーンに学んだオペレッタ作曲家でしたが、1909年に渡米し、初期ブロードウェイ・ミュージカルに偉大な足跡を残しました。さて肝心のヒロインの話。カティはビヤホールの娘。つまりどこにでもいそうな、ごくフツーの女の子というわけです。その10年後に初演された、ガーシュインの「ポーギーとベス」では麻薬に誘惑されるギャングの情婦ベスがヒロイン。ヒロイン像も等身大になってきました。<sup>\*4</sup>

そして現代。「ロミオとジュリエット」を現代に脚色した名作「ウェストサイドストーリー」（1956年初演）。そのヒロイン、マリア。そして今日なおロングランを続けている「オペラ座の怪人」（1986年初演）のクリスティーヌ。2人とも少女から大人への狭間の時期、言ってみれば私達おじさんが、いちばん理解に苦しむコギャルの年代です。<sup>\*5</sup>

さて、この2世紀の間に女性は変ったでしょうか。確かにヒロイン像は理想的女性像から現実にいそうな女性像へと変っているように思います。しかし、いまだに測り知れない謎であることでは、全く変わっていないといってよいでしょう。

\*1) 流石お堅いベートーベン。この世には純粋なる夫婦愛のみが存在しうるのだそうです。よくぞ私の認識を代弁して下さった。

\*2) 次のカルメンにしろ、これって男が勝手に失楽園状態しているだけのこととちゃいまっか？シット、やんぬるかな！

\*3) 同感。しかしこのスマートには運ばない。大抵は泥沼にはまる。

\*4) いまだに心に広がる甘いモノ。つまり、かの頃から、本件に関しては全く成長がみられない、ということか。

\*5) 君がどうなろうと、やっぱ好っきゃねん。愛の不思議、愛の不滅。

\*6) 愛は不条理。しかし、それを受けとめてこそ人生。こう言えるのは、よほど鈍感か、何も考えていない、ということらしい。とある女性、談。

# “潤い”的きっかけ

天然保湿成分「ゲル」に潤う素肌。

肌をすこやかに保ちデリケートな肌に整えるゲル

なめらかで軽いタッチのゲル

なじむとしなやかさが伝わるゲル 潤いのきっかけに提案いたします。  
手にも 体にも 顔にも やさしい使いごこちのゲルホームクリーム。



ペルマニ化粧品

お問い合わせ・御注文は下記へ、一個からお届け致します。

名古屋市瑞穂区松月町6-9 矢吹 弘子 TEL:851-8038  
名古屋市瑞穂区北原町1-27 神原百合子 TEL:851-9101

## ノンオイル無香料

アロエエキス(保湿剤)

ヨモギエキス(保湿剤)

アラントイン(保湿剤)

オウゴン(保湿剤)



NET.90g

¥1,942(税抜)

## 生地から製品まで繊維のことなら何でもご相談ください。

- ・木綿の生地(生機・晒・無地染め・シーティングキルト等)
- ・タオル・ストッキング・ソックス・エプロン等、暮らしの衣料
- ・宣伝・販売促進用オリジナル旗・のぼり等、別注製品
- 会社・サークル活動のTシャツ・トレーナー等、名入れ製品
- ・ピューオーター等、健康補助食品・洗剤等、エコロジー商品

地下鉄伏見1番出口前

(株) 田中 義 TOPテノール田中良夫

☎460-0003

名古屋市中区錦二丁目16-23

TEL:052-231-1683

FAX:052-204-0866

# PROFILE

## コール汐路

コール汐路は、汐路小学校PTAコーラス部として発足し、今年は25周年コンサートを予定しています。メンバーはPTA会員とそのOG。25人程の人数ですが、それはまるで「ふぞろいの音符」のようで、中には休符も混ざったりしています。週に1度の適度な脳への刺激は、生活の彩りとなっています。

<活動内容>年1回、東海主婦のコーラス連盟・名古屋市PTA主催の演奏会に出演。  
H8年「カトレア杯お母さんのコーラスフェスティバル」で「ミューズ賞」受賞。



\*1

### SOPRANO

川瀬 慶子  
林 万知子  
村瀬 久子

### MEZ.SOP.

酒井 靖子  
本部 慶子

### ARTO

川原 良子  
矢野 礼子

鈴木ふ志子  
フォン・ホイドク・エストレリア  
山田千鶴子

杉浦 節子  
三宅加代子

柴垣真知子  
矢吹 弘子

土井ちづ子  
山田千鶴子

中村 弘子  
柳瀬 佳子

平岩 理恵  
横谷 幸枝

服部 深雪  
水谷 澄子

### 美口 啓子 (指揮)\*1

「始めまして。美しい口と書いてびぐちと申します。」と自己紹介するようになりもう10数年…。

名古屋音楽大学声楽科在学中より、伊藤晶子氏に師事し、現在、名古屋オペラ協会準会員としてオペラ、歌曲など多数の演奏会に出演。名前だけでなく、本当の美しい口になれるよう、まだまだ日々努力の毎日です。

今日は、両手を振り続けて8年のおつき合いのコール汐路、SARAハーモニーと共に念願だった混声にチャレンジです。ああ！またこの世界にはまりそう……。 \*2) \*3)

\*2) その両手の軌跡のしなやかさ、美しさに、ナゴヤカメンバーはうつとり。音を外す者、口をアングリ開いたままの者…「やんぬるかな男」、以前の問題である。

chart : 美はアートにとって時に罪である。

\*3) まあ、そうおっしゃらズドッブリおつかり下さいませ。少しぐる目なので出るとお風邪を召すやも知れません。悪しからず。



\*1

## SOPRANO

江端 京子	永田みづ子
平野 直子	広瀬麻理子
森谷 純子	山口 規子

## MEZ.SOP.

阿部 陽子	畔柳 隆子
-------	-------

## ALTO

川島千加子	鈴木 達子
脇田 典子	

## SARAハーモニー

私たちは、廿軒家小学校 P T A のコーラス部として平成 1 年から活動を始めました。

子供たちが、すこやかに成長してくれるのを願いながら、私たち自身も 1 人の女性としてより成長できるようコーラスを通じて日々とりくんでいます。

そして、部員相互の理解を深め、仲良く音楽を楽しんでゆけることを願っています。

<活動内容>年1回、名古屋市PTA主催の演奏会に出演。  
その他、瀬古マザー園等ボランティア演奏も行う。

## 西野 亜理紗 (ピアノ)\*1

あれは今から 8 年ほど前になりますが、音楽とは縁のない職場で稻熊氏に出会ったのです。その時、私の「東宝ミュージカルの子役の稽古ビアノをしたことがある。」という話から「僕も音楽をやっているので、今度是非一緒に演りましょう。」と誘われました。いつしか時は流れ… 4 年前、突然電話が鳴り「今度、演奏会があるんだけれど伴奏をお願いします。」本番の 2 週間前のことでした。それから殿方とのお付き合いが始まりました。女声合唱の伴奏をしている私に、昨年、向川原氏から「男声と女声合同で演奏会をしませんか？」と大変光栄なお話を頂き、それが本日の演奏会の運びとなったのです。\*2)

縁というのは不思議なものです。音楽を通じての出会いが人の心を NAGO YAKA にしてくれるのでありますから！

\*2) 殿方<トノガタ>：現代語では紳士のこと。これをめぐってナゴヤカメンバーは「オレの事である。」とケンケンガクガクである。しかし、ここでは「タレガ殿方は、否、いない。」と反語的に解釈するのが正しい。

chart : 古文は、前後、行間を読め。



## なごやか合唱隊

「なごやか合唱隊」の前身は、「東西四大学O B合唱団」ということになります。その昔、東京と関西のそれぞれの大学で男声合唱を楽しんだ面々の内、東海地区在住のメンバーが各大学ごとに集まり細々と活動しておりました。しかし、各団とも多くてもダブルカルテット程度しか集まらず、しかも全パートが揃わないという事もしばしばで学生時代に経験した男声合唱にはほど遠いというのが実体でした。その事がどこからともなく各団のメンバーに伝わり、それではいつのこと四大学のO Bが一緒になって活動したらどうかという事になり、結成されたのが「東西四大学O B合唱団」です。

「東西・・・」は、演奏会はもちろん、合唱コンクールへの参加、ボランティアの施設慰問コンサート等幅広い活動を行ってきました。そしてその「四大学」の枠を取り払い更にメンバーが多彩になって本日デビューしたのが「なごやか合唱隊」です。メンバーの唯一つの共通点は「合唱を愛する男性」というだけで、

出身校、職業、年齢、収入、好みの女性のタイプ、好きなテレビ番組、好みのお酒の銘柄等々は全てバラバラです。でも、その唯一つの共通点が本日のステージを作り上げます。是非その成果をお聞き下さい。

ところで、本日デビューした「なごやか合唱隊」は同時に本日解散する予定です。そして、更にグレードアップし、また皆様にお目にかかることになると思います。その時には、もっと充実した演奏会が開催できますよう「一つの共通点」に磨きをかけて参りますので、是非また演奏会に足をお運び下さいますようお願い申し上げます。

次に皆様にお目にかかる時は「さわやか合唱隊」でしょうか、「ほのぼの合唱隊」でしょうか、「わくわく合唱隊」でしょうか、それとも・・・

### 浅井 良之（指揮）\*1

なごやかベースマン。かたわら某高校プラスバンド部を指導。傍ら、に、世界史の教師である。さらに、かたわら……  
1977年早稲田大学卒業。

この項全て脚注。つまり本人が原稿提出を怠ったことによる。したがって、内申点は「1」。

### 稻熊 裕之（指揮）\*2

1979年同志社大学卒業。グリークラブ在籍中に指導を受けた故福永陽一郎氏の影響で編曲を手掛ける。

あのね、「プロフィール前回どうりで……」はないでしょ？

### 成田 正人（指揮）\*3

有能な（？）会社員、厳格な（？？）父、貞淑な（？？？）夫、等々様々な役を器用に演じ分けているつもりの彼であるが、実はミューズの神の忠実なる下僕。ひとたび御下命あらば、すべてを投げうって没頭してしまう。ワグネル時代は学生指揮者を務めるかたわら、合唱団『みみずく会』を指導。卒業後も精力的に指揮や創作活動を続けている。現在『カンタービレひまわり』顧問指揮者。

### 向川原 慎一（指揮）\*4

「メンバーはそれぞれが学生時代から、素晴らしい音楽経験を共有している人ばかりです。

「世の中に下手な合唱団というものは存在しない。

下手な指揮者がいるだけだ。…………>

ということばを肝に命じて、みんなの貴重な時間を価値あるものにしたいとおもっています。

1949年名古屋生れ。1973年早稲田大学卒業。

### 三ツ口 朱野（ピアノ）

武蔵野音大ピアノ科卒業

坂井玲子、ペーター・ショイモシュの各氏に師事。室内楽、合唱、オペラ等の伴奏者を務める。又、チェンバロを中野振一郎氏に師事。バロック音楽、宗教音楽の通奏低音奏者として活動している。

前回クローバーの演奏会でご一緒にいた際、「ワグネルゆかりの……」と紹介され、その言い回しはナゴヤカメンバーの間で大ウケであった。が、ご本人は無頓着であるらしく、グローバルな視野で活躍。昨日ケルンかと思えば今日は芸劇、というわけで「ゆかりのワグネリアン」としては……

### 笠井 幹夫（テノール独唱）

慶應義塾大学卒業。東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修了。現在日本演奏家連盟、青の会、神戸オペラ協会会員。

ワグネリアンとしては異端という他はない。受験生を持つ親としては、はなはだ迷惑な例といつてもよいのではないか。

しかれども、本日は氏と同ステージに立って、バトンを分けていた

だけます。勝手ながら。

chart：論理でなく情熱がすべてを解決する。

### 橋爪 圭子（ソプラノ独唱）\*5

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。現在 同朋高校音楽科、及び名古屋音楽学校講師。名古屋二期会会員。

我らがマドンナ。ナゴヤカメンバーは全ての女性をマドンナと称え、本気は唯一人、氏のみ。「じゃあこの会場にきたアタシは」と問われれば、「もちろん」と答えてしまう。しかれどもマドンナ橋爪は不動であり、杏香、そこのアナタこそ……やんぬるかな男毎度、楽しいステージ、ありがとうございます。

### NAGOYAKA ENSEMBLE

#### 森 亘（1st Vn）

1984年 愛知県立芸術大学卒業。

1986年 同大学院終了、名古屋フィルハーモニー入団。

#### 横田 真規子（2nd Vn）

愛知県立大学器楽科卒業。

現在 ソーア合奏団団員。

#### 戸田 雅子（Va）

愛知県立芸術大学器楽科卒業。

室内楽、オーケストラ等で演奏するかたわら、後進の指導にあたっている。現在 ソーア合奏団団員。

#### 川出 三和子（Vc）

金城学院大学文学部国文学科卒業。

現在フリーのチェリストとしてオーケストラ、室内楽、ソロ等の演奏活動中。

#### 伊藤 慎（Cb）

1961年名古屋生れ。

桐朋学園大学卒業。故、小野崎 充氏に師事。

名古屋自由学院短期大学非常勤講師。

#### 小室 真美（Ob）

愛知県立芸術大学在学中。オーボエを小畠善昭氏に師事。

室内楽を菅原眸氏、中川良平氏、村田四郎氏に師事。

「ジェットストリーム・ストリーム・リーム・リーム・リー……今宵皆様を欧洲の歌劇場へと誘うのはこのメンバー。ニューイヤーコンサートの華やぎが、今、あなただけのものになるのです。」このメンバーのお力を得て、第4ステージはこんなイメージになるはずですが。はたしてオジサン達は、ついていけますかどうか。ところでオーボエの小室氏、編曲の伊藤氏は「父上がナゴヤカゆかり……」という噂なのですが……。

## TOP TENOR

池田 研一  
鹿住 誠  
高橋 克  
向川原慎一

井坂 清徳  
片田 保彦  
田中 良夫

伊藤 高潤  
栗山 宏和  
野上 幸市

小澤 直樹  
佐々木正義  
三ツ松 平

## 2ND TENOR

新谷 岳史  
近藤 恭司  
本多 一義  
吉居 清

石井 清  
柴田 道昭  
三ツ口勝久

伊東 健光  
武田 弘  
森重 雅夫

黒田 泰男  
成田 正人  
横内 憲一

## BARITONE

池田 寛水  
倉知 恒  
富田 敏夫

伊東 哲也  
木葉 晴之  
弘瀬 嘉夫

猪原 龍吉  
塚本 松市  
森田 和男

大西 育生  
寺本 和市  
山下 裕司

## BASS

浅井 良之  
科野 輝藏  
松倉 一義

稻熊 裕之  
鈴木 広志  
八尾 章

井ノ口貴敏  
館 和道

鹿島田秀夫  
長島 俊司

グルッペかめや

実行委員長 三ツ口 勝久（涉外対女声）

実行委員 柴田 道昭（広告・打上げ）

高橋 克（会場連絡）

近藤 恭司（動員）石井 清（会計）

科野 輝藏（合宿）黒田 泰男（印刷物）

パートマネ 野上 幸市（T1）森重 雅夫（T2）

弘瀬 嘉夫（B1）鹿島田 秀夫（B2）

コンサートマスター 田中 良夫

総合演出 栗山 紘和

第4部脚本 高橋 淳

コンパ  
クラス会は!!

みなさまの

か め 屋

2F 3F 4F 380名様～

広小路通・仲田交差点南

TEL:731-5629-5631



# NAGOYAKA

なごやかコンサート

1

プロローグ

本日のおすすめ ア・ラ・カルト

2

女声合唱

「マザーグースの歌」より  
作詞:谷川俊太郎 作詞:青島広志

3

男声合唱とモノローグによる

パパの子守歌

～とあるサラリーマンの日記より～  
作:なりた まさと

4

名作オペラ&ミュージカル おいしいとこだけ

男とをんな、やんぬるかな男

出演:なごやか合唱隊・コール汐路・SARAハーモニー・NAGOYAKA ENSEMBLE

ソリスト:笠井幹夫・橋爪圭子

指揮:浅井良之・稲熊裕之・成田正人・美口啓子・向川原慎一

ピアノ伴奏:西野亜理紗・三ツ口朱野

1998年1月31日(土):4時開場:4時30分開演:名古屋市芸術創造センター  
全席自由 1500円

主催:グルッペかめや 後援:中日新聞社:テレビ愛知:東海主婦のコーラス連盟:名古屋市教育委員会

お問合せ:高橋 (052) 251-2391